

機密側書證第一四〇一—N—一號

野村發豊田宛一九四一年九月三日第七七八號

九月三日午後五時大統領ト内密ニ會見大統領ハ先往電第七七六號、第七七七  
七號ノ通讀上ケタル上自分モ近衛公ニ發大信ニ國長官モ太平洋平和ノ爲  
ニ努力スルカ日米トモニ國內ノ輿論アリ自分ニ對シテハ類々ト日本ト妥協  
スル爲其ノ政府ノ變更ナキコトヲ要求スル電報アリ從テ自分ハ近衛公ニ對  
シテハ最モ同情 (For a better society everywhere) ト申マリ、ラフスル旨語リ  
リ又長官モ傍ヨリ日本ノ現状ヲ尋ネタルヲ以テ總理ハ斷乎トシテ進ムヘキ  
旨ヲ答ヘ置キタリ懸案ノ三問題ニ付テ本任ヨリ二件ハ原則的ニ一致シアリ  
撤兵ニ關シテハ日本ノ總理カ出馬スルコトハ異業一致ノ成算アルカ故ナリ  
ト説明シ置キタルカ國長官ハ其ノ他ニ尙二、三字句ノ點アルヲ云ヒ尙話  
纏リタル以上英、蘭、印、支那ヲシテ納得セシムルノ必要ヲ繰返ヘシタリ  
大統領ハ「チャーチル」ト會談ノ際毫モ日米口交調整會談ノ内容ニ觸レサ



リシカ右ハ英側ニテハ總テ關係ニ話ス慣習アリ其關係ハ議會ニ披露シ秘  
密ヲ保チ難キ故ナリト申セリ又會見日取ニ付テ大統領ハ九月下旬ニ一約京  
アルモ其ノ他ニ今ノ所約束ナキ様子ナリ。別レノ際太平洋平和ヲ維持ハ大統  
領ノ「ハイ・スターツマン・シツブレ」ニ俟ツコト多大ナル旨述ヘタル處大  
統領ハ首肯シ長官ハ日本新聞ノ論調ヲ氣ニシ尙二三ノ質問アリタリ  
貴電第五二四號末段我方ノ立場聲明ノ點ニ關シ話シタル處大統領ハ異存ナ  
ク長官ハ何モ答ヘサリシカ明朝長官ト會見スルニ付尙確カメ報告ス（了）